

令和2年2月

令和元年度 小浜市議会報告会

行政回答書

〈 目 次 〉

内外海地区	P 1 ~ P 4
松永地区	P 5 ~ P 8
小浜地区	P 9 ~ P 10
国富地区	P 11
雲浜地区	P 12 ~ P 13
口名田地区	P 14 ~ P 16
遠敷地区	P 17 ~ P 20
西津地区	P 21
加斗地区	P 22
中名田地区	P 23 ~ P 27
今富地区	P 28

No.	実施報告書 記載頁	地区名	質問概要	回答担当課
1	1	内外海	・避難所備品（非常食）の充実	生活安全課
2	1		・小浜市一斉の避難訓練の実施	生活安全課
3	1		・地すべり対策事業の実施	農林水産課
4	2		・住民が少ない地域での自主防災組織の結成方法	生活安全課
5	2		・堅海区避難所（大学施設）の避難訓練時の使用	生活安全課
6	2		・旧阿納尻小学校の活用	財政課
7	4	松永	・平日の実情に応じた避難訓練の実施	生活安全課
8	4		・北川遠敷川合流地点の浚渫、松永川の改修	都市整備課
			・平成30年9月の台風19号の避難者	生活安全課
9	5		・避難所の避難対象者	生活安全課
10	5		・松永川の浚渫	都市整備課
11	6		・旧松永小学校の利活用	人口増未来創造課
12	7	小浜	・小中学校の給食調理員の不足	教育総務課
13	7		・公民館のコミュニセンター化	市民協働課
14	8		・高齢者運転免許自主返納支援事業の充実	生活安全課
15	10	国富	・旧国富小学校管理費用の増額	人口増未来創造課
16	12	雲浜	・河川の改修（多田川上流など）	都市整備課
17	13		・保育園民営化に伴う保育の質の確保	子ども未来課
18	16	口名田	・各河川の川底の上昇	都市整備課
			・防災士の会への補助	生活安全課
19	17		・自主防災組織への防災士のサポート	生活安全課
20	17		・猿の追跡調査への対応	農林水産課
21	17		・屋外拡声器への電光掲示板取付	生活安全課
22	20		遠敷	・小浜美郷小学校避難所指定と対象地区
23	20	・小浜美郷小学校の避難所指定に係る地域考慮		生活安全課
24	21	・小浜美郷小学校通学路の街灯		都市整備課
		・小浜美郷小学校の給食調理員		教育総務課
25	22	・忠野区お堂の再建		文化課
		・山から崩れた土砂の処理		都市整備課
26	24	西津	・河内川ダムの台風対応能力	都市整備課
27	26		・農林漁業成長産業化支援機構の見直し・廃止の影響	農林水産課
28	28	加斗	・加斗小学校エアシェルターの地元説明	生活安全課
29	30	中名田	・上中井信号機の感知機能	生活安全課
30	30		・高齢者運転免許自主返納支援事業の地域考慮	生活安全課
31	30		・CATVインターネットの不具合	市民協働課
32	31		・ラジオの受信確保	生活安全課
33	31		・小浜病院健康診断の予約	高齢・障がい者元気支援課
34	31		・簡易水道料金の格差是正	上下水道課
35	31		・防犯隊の活動補助金	生活安全課
36	35		今富	・今富小学校グラウンドの整備（除草）

内 外 海 地 区

小浜市議会報告会

No.1

質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P 1

質 問	<p>田鳥避難所の備品はA 3 ぐらいの箱に入っている程度。昨年指定されて配置され7年後ぐらいの賞味期限がありました。これは毎年いただけるものなのか。このサイズならそれだけ費用はかからない。3 5カ所に避難備品1つずつではそれだけ費用が発生しない気もします。毎年それを1つずつ7年後に入れ替えではそんなに費用はかからないという気がした。</p>
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>備蓄食料、保存水等につきましては、いずれの指定避難所におきましても、必要最低限の配備としており、現在の数量を基本として、期限が切れる前に入れ替えを行うこととしております。</p> <p>避難が長期化するなど、備蓄物資が不足する場合には、輸送供給を行うこととしておりますが、数に限りがありますので、避難される際は、「自助」の考えのもと、初期の避難生活に必要な物資をご持参いただきますようお願いいたします。</p>

小浜市議会報告会

No.2

質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P 1

質 問	<p>避難施設に避難するようなものを各地区一斉に、市のほうで全体的にやられると、それに便乗してできるのではないか。</p>
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>毎年、市の防災（水防）訓練を5月に実施しており、その際、市内全ての指定避難所の開設や、防災行政無線等を用いた避難勧告の発令等を行っております。</p> <p>各区には、毎回、区長様を通じて、この機会に合わせた避難訓練や連絡網の確認訓練等の実施を呼びかけさせていただいておりますので、これらの実施についてご検討くださいますよう、よろしく願いいたします。</p>

小浜市議会報告会

No.3

質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P 1

<p>質 問</p>	<p>私の地区の裏山で地すべりがあり非常に危険で調査してもらいました。県単事業で県50%、市が25%、個人負担が25%という事業を見つけ申請したが条例に阻まれて出来ないと言われた。市の負担分を個人で負担しても出来ないのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>農林水産課</p> <p>小浜市では、山地災害から市民の生命・財産を保全し、水源の涵養、生活環境の保全・形成を図るため治山事業を行っております。</p> <p>治山事業には、国の補助を活用して行う大規模な県営治山事業から、国の補助対象とならない小規模な県単治山事業が用意されております。</p> <p>しかし、治山事業を実施するためには、条例での規制はありませんが、国や県の事業採択要件を満たしている必要があります。</p> <p>阿納尻区（高屋）については、山地の荒廃状況や土砂流出状況などから治山事業の採択要件を満たしていないため、引き続き現地状況を経過観察していくこととなっております。</p> <p>今後、現地状況が変化し事業採択要件を満たした場合には、事業採択に向け福井県へ要望を行うことが可能です。</p> <p>この場合、地権者の同意や地元負担金（県単治山事業）などが必要となりますのでご理解の方よろしく願いいたします。</p> <p>大規模</p> <p>○県営治山事業：地元負担金 なし 保安林指定 必要 地権者同意 必要</p> <p>小規模</p> <p>○県単治山事業：地元負担金 あり 県50%、市25%、地元25% 保安林指定 不要 地権者同意 必要</p>

小浜市議会報告会

No.4

質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P2

<p>質 問</p>	<p>内外海地区では、少人数の地区が多い。そうすると、組織は住民の負担になるのか？気になったのと、他の地区で組織率 100%の地区などどのように組織して運営しているか、具体的に見えたらと思う。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>自主防災組織は、地域で生活環境を共有している住民の皆様により、地域の主体的な活動として結成・運営されることが基本となります。</p> <p>その上で、区内の世帯数が少ない場合には、地区単位や隣の区とまとまって結成するなど、地域の実情に応じた組織づくりをご検討していただければと思います。</p> <p>一例として、地区を単位として結成している中名田地区では、地区の防災部門として、自主防災組織が運営されています。また、区を単位として結成している地域では、区の役員等が中心となり連絡網や災害時の役割分担等を決め、区の行事として防災訓練を行うなどしています。</p> <p>なお、自主防災組織の結成をご検討される中で、ご不明な点等あれば、生活安全課防災グループ担当までご相談ください。</p>

小浜市議会報告会

No.5

質問、要望に対する回答

【内外海地区】 P2

<p>質 問</p>	<p>堅海では、災害時の避難所が大学の施設になっているんですが、避難訓練をさせてくれないかと言ったところ、大事な設備施設があるのでお断りしますという返事が大学側からありました。有事の際に避難経路など分からないのでどうすればよいのか？</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>市では、災害の種類ごとに安全性の確保された場所や施設を「指定緊急避難場所」として指定しています。また、災害により住宅を失った場合や災害の危険が無くなるまで一定期間滞在する施設を「指定避難所」として指定しています。</p> <p>堅海区の近隣においては、地震や津波災害に対する指定緊急避難場所として、旧堅海小学校グラウンド、洪水や土砂災害等に対する指定緊急避難場所と指定避難所を兼ねて、内外海小学校、久須夜交流センターを指定しており、ご質問いただいた大学の施設につきましては、市の指定緊急避難場所、指定避難所ではないことから、他施設での避難訓練をご検討いただきますようお願いいたします。</p> <p>なお、原子力災害時の屋内退避施設として、福井県栽培漁業センターの管理棟を位置付けています。</p>

<p>質 問</p>	<p>旧阿納尻小学校を取り壊さないで、アートの工房やサテライトオフィスのような活用で存続できないかと考えています。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>財政課</p> <p>旧阿納尻小学校は財政課が普通財産として管理を行っている建物ですが、築後63年が経過し老朽化による損傷が各所にみられ、また、耐震化工事も実施していないことから、安全面において大きな不安を抱えているところですが、それらを全て改修するには多額の費用が必要と見込まれることなどから、平成31年3月に策定しました「小浜市公共施設個別施設計画」において、令和5年度までに「廃止」に向けた検討を進めていくこととしております。</p> <p>今回、地区から活用案についてご提案いただいたところですが、校舎を安全に使用いただくためには多額の改修費用の負担など、多くの課題があると考えております。</p> <p>しかしながら、今後地区内において議論が深まり、実施内容や実施主体など具体的な方向性が定まった場合には、施設の譲渡を含め地区と協議させていただきます。</p>

松 永 地 区

小浜市議会報告会

No.7

質問、要望に対する回答

【松永地区】 P4

<p>質 問</p>	<p>自主防災組織が100%となっている地域にいる。連絡網で点呼をしたが、平日日中は組織はあっても若い人が仕事で家にいないため老人が動けない状況。防災無線で避難誘導があっても「私は行かない」「足がない」との声で、今の訓練は実働と違う。 自主防災や地区、公民館も主導的にかかわり、家にいる老人会や関係団体を含めた防災訓練が必要ではないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯など、自ら避難することが困難で支援が必要な方（避難行動要支援者）の災害時における避難につきまして、地域と連携して対応することが重要でありますことから、平成28年度より、区長様や民生委員様、地域の防災関係者等のご協力のもと、「対象者を誰が、どのように、どこの避難所に避難させるか」等を定めた避難支援個別計画の策定を進めております。 この計画に基づいて訓練を実施していただきますと、実働に即した内容になるものと考えますので、計画の策定も含め、地域ぐるみでご検討いただきますようお願いいたします。 なお、避難とは災害の危険から命を守るための行動であり、住家が洪水や土砂災害のリスクの少ないところに立地していれば、屋内のより安全な部屋に留まる等の行動（屋内安全確保）も有効な手段となりますので、訓練を実施していただく中で、あわせて周知していただきますようお願いいたします。</p>

小浜市議会報告会

No.8

質問、要望に対する回答

【松永地区】 P4

<p>質 問</p>	<p>北川と遠敷川の合流地点の浚渫と松永川の河川改修をしないと災害時の水流の確保ができないのではないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>北川と遠敷川の合流地点の浚渫については、昨年度、北川を管理する国において、維持掘削を実施しております。 国からは、今後も河川の維持掘削、樹木の伐採などについて、流下阻害状況等を踏まえ、緊急性の高い箇所から順次対応していくと聞いております。 松永川の改修については、管理する県からは現在、河川整備計画に基づく河川改修の計画は無いと聞いております。 市としては、今後も地区の皆様方からの情報を県に提供しながら、引き続き、河川の適切な維持管理について要望していきます。</p>

No.8

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答

【松永地区】 P4

質 問	平成30年9月台風21号時の避難者を把握しているか。
行政側回答	生活安全課 平成30年台風21号におきましては、市内の避難所34施設を開設し、市全体の避難者数は、223名でした。 なお、松永地区では、松永公民館への避難者が1名という状況でした。

No.9

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答

【松永地区】 P5

質 問	地域の違う人が避難所を利用しようとしたら「お前の来るところではない」と言われた。誰でも避難できるようにしてほしい。
行政側回答	生活安全課 各地区の指定避難所は、その地区の住民だけを対象としているものではなく、どの地域の方にも避難していただくことができます。 このことは、出前講座等の機会を通じて広く周知させていただくとともに、各避難所に配置している職員にも改めて周知させていただきます。

小浜市議会報告会

No.10

質問、要望に対する回答

【松永地区】 P5

<p>質 問</p>	<p>松永川は四分一橋のところ河川の水位を測定しチャンネル0で表示しているが、その上流と下流で河床が上がっている。カメラ撮影の箇所だけで判断したのでは危険。浚渫は早急にお願いしたい。</p> <p>近年の台風で27号より北川よりの田んぼが水没することが台風毎によくある。土地改良では田んぼの排水能力を高めるのみで、山から溢れる水や小河川の水路の冠水、北川の河床が上がって排水ができないことが原因と思われる。市議会からも県や国へ強く要望してほしい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>松永川の浚渫等については、管理者である県が行っており、平成29年度に松永川の水位観測所がある大河原橋下流の一部の浚渫工事を、また、平成30年度には国道27号から下流の一部の浚渫工事および大河原橋上流の立木伐採を実施しました。</p> <p>今年度は松本橋下流の一部と遠敷川合流点において浚渫工事を実施する予定と聞いております。</p> <p>県からは、今後も河川の維持掘削、樹木の伐採などについて、流下阻害状況等を踏まえ、緊急性の高い箇所から順次対応していくと聞いております。</p> <p>北川の浚渫については、「北川水系河川整備計画」に基づき、平成24年より河口から遠敷川合流地点までの約4.3km区間で河道掘削を実施しているところです。</p> <p>現在は、下流部の水取地区において河道掘削を実施しており、平成30年度までに約960mの区間が完了しております。</p> <p>本年度においても引き続き水取地区において、河道掘削を実施していると聞いております。</p> <p>また、河川整備計画以外の区間においても過去から浚渫工事を実施しており、今年度も引き続き実施すると聞いております。</p> <p>市としては、今後も地区の皆様方からの情報を国・県に提供しながら、引き続き、河川の適切な維持管理について要望していきます。</p>

小浜市議会報告会

No.1 1

質問、要望に対する回答

【松永地区】 P 6

<p>質 問</p>	<p>旧松永小学校の利活用松永小学校跡地、校舎をどう利用していくか、廃校4校の地域とも連携して利活用の検討を早めをお願いしたい。また国・県など様々な支援や活用方法の情報などを紙面で提供してほしい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>人口増未来創造課</p> <p>旧松永小学校校舎につきましては、現在、体育館とグラウンドを利用いただくとともに、校舎は避難所に指定しています。避難所の指定された教室以外についても、地区による利用の要望があれば、市と地区で使用期間や費用、使用条件等を協議し、地区で活用いただけるよう、できる限り対応させていただいております。</p> <p>なお、旧校舎は、校舎が築54年、体育館が築43年が経過して老朽化が進んでおり、また、大規模修繕も難しいことから、本市として旧校舎の具体的な活用計画はなく、今後の活用については、参考となりそうな事例について紹介させていただきながら、まずは地区の皆様の要望をお聞きし、協議・検討していきたいと考えています。</p>

小 浜 地 区

小浜市議会報告会

No.12

質問、要望に対する回答

【小浜地区】 P7

<p>質 問</p>	<p>小浜市内の各学校で調理員不足が続いているように聞いているが現状はどうか？</p>
<p>行政側回答</p>	<p>教育総務課</p> <p>学校給食調理員は、これまでから公募により募集してきましたが、年々、応募者数が募集定員を下回る状況が続いており、4月の時点では、小学校5校と中学校2校で合わせて8名の欠員状況からスタートすることとなりました。</p> <p>この欠員の状況に対し、公募の期間を延長するとともに、本市公共施設への募集広報や求人サイトへの掲載に併せて、学校長による校区内での呼びかけなどにより、新たに8名を採用することができましたが、退職者や育児休業を取得する職員が出たことにより、11月時点でも、小学校3校と中学校2校で合わせて8名の欠員状況となっています。</p> <p>学校給食調理員の不足に対する対策としましては、これまでから処遇の改善を図ってきており、最近では、平成29年度の報酬額の一律3%上乘せや、平成30年度の経験年数に応じた報酬体系への見直しなどに取り組んできたところですが、給食調理員不足の解消には繋がっていません。</p> <p>給食調理員の確保については、給食センターなど外部での調理による学校給食の提供ではなく、各小中学校に給食室を設置する「自校式学校給食」を継続していくことを前提として、既に本市の公立保育園で取り組んでいる民間事業者による給食業務の実施や県内他市町における業務委託による自校式学校給食の実施例を参考にしながら、学校給食調理員の確実な人材確保と、安定した学校給食の実施に向けた抜本的な検討を一日も早く実施し、温かく、美味しい学校給食が提供できるよう努めてまいります。</p>

小浜市議会報告会

No.13

質問、要望に対する回答

【小浜地区】P7

質 問	各地区の公民館についてコミュニティセンター化を進めているように聞くがまちづくり協議会も含め市民と行政に温度差があるように思うが議会での議論はどうなっているのか？
行政側回答	<p>市民協働課</p> <p>公民館のコミュニティセンター化については、平成30年8月に小浜市コミュニティセンター検討委員会を立ち上げ、検討を重ねてきました。本年度中に、検討委員会としての方向性を示す「検討結果報告書」をまとめていただき、市長に報告していただく予定となっています。</p> <p>この「検討結果報告書」ならびに議会の意見等を踏まえて、小浜市のコミュニティセンターの方向性を十分に検討していきたいと考えています。</p>

小浜市議会報告会

No.14

質問、要望に対する回答

【小浜地区】P8

質 問	運転免許自主返納事業について、バスの回数券、タクシーチケット1万円分では交通弱者にとっては少なすぎるのでは？
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>高齢者運転免許自主返納支援事業につきましては、運転免許を自主返納された65歳以上の市民を対象に、あいあいバス等の回数券もしくは1万円分のタクシーチケットのいずれかを選択していただき交付するものです。本事業は、高齢者の交通事故を未然に防止するため、運転免許の自主返納を促すための契機として実施しているものでありますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

国 富 地 区

<p>質 問</p>	<p>閉校の跡地活用で、グラウンドの管理に 20 万頂いているがもう少し増額できないか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>人口増未来創造課</p> <p>旧小学校施設の維持管理については、昨年度に市と関係地区とで協議し、避難所として指定されている校舎の通風や簡易な清掃、体育館と付随するトイレの清掃、グラウンドの草刈等をお願いするとともに、20万円を維持管理費としてお渡しすることで合意いただいたところです。</p> <p>委託契約に基づく地区での維持管理は本年度から開始したところであり、年間の維持管理費の妥当性につきましては、初年度の実績を含め、今後の使用状況等を考慮の上、協議させていただきたいと考えています。</p>

雲 浜 地 区

小浜市議会報告会

No.16

質問、要望に対する回答

【雲浜地区】 P12

<p>質 問</p>	<p>小浜市の水害について、昔の資料があるので議員には知ってもらいたい。①福井新聞の記事（ターミナルセンターで提示）②若狭新聞社の小冊子③若狭消防署と当時の市長との無線のやり取り記録④今富公民館の資料⑤嶺南地域流域検討委員会の議事録がある。多田川上流域の改修問題と地下水圧により堤防が動く問題がある。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>多田川改修については、県が平成16年7月に策定された「多田川水系河川整備計画」に基づき、辻堂橋から国道27号までの約0.7km区間の河道拡幅などの整備が進められております。県は、多田川下流側から整備を進められており、これまでに約300m区間の整備が完了しております。</p> <p>現在、和久里地係の市塔橋の架け替え工事を行っているところであり、それにより国道27号までの区間については、ゲンジ螢の生育に配慮した護岸整備を実施する予定と聞いております。また、国道27号より上流については、砂防法に基づく砂防事業で護岸の整備が完了しております。</p> <p>多田川の維持管理については、河口から国道27号までは県が管理し、それより上流については、県と市で管理しております。</p> <p>過去には風や豪雨等の影響による構造物などの復旧工事や土砂浚渫を実施しております。今後も県と情報共有を図りながら、砂防施設の補修や土砂浚渫・立木伐採などについて、緊急性や必要性を見極めながら対応したいと考えております。</p>

<p>質 問</p>	<p>新聞記事は、「宮川・松永保育園の合同保育開始」や「本年度から、浜っ子こども園の民営化議論開始」だと思う。 浜っ子こども園は一番大きな公立保育園で、小浜市からの指示が出せる状況にしていきたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>子ども未来課</p> <p>本市では、今年度から、浜っ子こども園の民営化の検討を開始し、令和2年度から、遠敷・松永・国富・宮川保育園4園の統廃合・民営化について、小浜市立保育園統廃合及び民営化計画（後期第3期）に基づき、地域の意見を踏まえて検討を開始する予定です。</p> <p>浜っ子こども園は小浜市の中心部に立地し、市内で最も園児数の多い公立園です。通常保育に加え、土曜保育、延長保育、障がい児保育、医療的ケア児の受入れなどを行っており、園内に子育て支援室も設置するなど、他の公立園にはない中核的機能等を有しています。</p> <p>浜っ子こども園の民営化の検討については、「小浜市全体としての保育のあり方」を考える中で、その中核的機能等の検証を行いながら、本市の子どもたちにとって、最善の保育環境が確保できるよう検討を重ねていきたいと考えています。</p> <p>浜っ子こども園を民営化した場合は、園の個性を尊重しつつ、市が推薦する「幼児教育アドバイザー」を通じて、保育の質の向上を目的とした助言を行っていきます。</p> <p>※ 幼児教育アドバイザー … 毎年、県の幼児教育センター主催で、市町で中核となって保育を推進する「幼児教育アドバイザー」（市町担当課長が推薦）を育成する研修があります。この研修は、幼児教育の水準の維持向上を図るため、幼稚園、保育園ならびに認定こども園への市町の応援機能を充実し、保育公開・研究の活性化、園内での「遊びの中の学び」を見取り伝える等、現場の実践への支援力を養うことを目的としています。幼児教育アドバイザーは現在6名で、公立、私立問わず定期的に訪問し、保育を見せていただき、一緒に保育を考え、助言を行う中で、保育の質の向上を目指しています。</p>

口 名 田 地 区

小浜市議会報告会

No.18

質問、要望に対する回答

【口名田地区】 P16

<p>質 問</p>	<p>南川を含めて各河川の川底が随分上がっているように思われますが、問題意識はどうでしょうか。コンクリートの骨材に川砂利を使わなくなった、碎石に切りかえたということから、川砂利採集がなくなったので、川底が上がっているんだという説明をしてくれる人もいますが、そういったことを研究はされているでしょうか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>南川の浚渫については、管理者である県が実施しております。昨年度は、五十谷川と南川の合流点において、近傍の護岸災害復旧工事に併せて一部浚渫工事を実施しております。また、滝谷地区対岸や国道27号付近においても土砂撤去を実施しております。</p> <p>コンクリートの骨材の川砂利活用については、県及び市では実施しておりません。</p> <p>近年、建設材料であるコンクリートおよびAS舗装の骨材は、建築物等で廃材となった建設資材を各市内にあるプラント工場が再利用して扱っており、公共事業としても新材より安価というメリットと環境に配慮した面からも使用している状況です。</p>

小浜市議会報告会

No.18

質問、要望に対する回答

【口名田地区】 P17

<p>質 問</p>	<p>市内の有志十数名で、小浜市防災士の会というのを今期中に設立したいと思っています。 会費を集めて会員が募れるかといった問題がありまして、補助金が出ればと思いますので議会の理解とご支援をお願いします。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>ご要望いただきました小浜市防災士の会への支援につきましては、設立の経緯や活動内容等も考慮したうえで、前向きに検討させていただきます。</p>

小浜市議会報告会

No.19

質問、要望に対する回答

【口名田地区】 P17

<p>質 問</p>	<p>自主防災組織トップの区長さんは毎年変わるので、防災士の資格を持った人がサポートをすればよいと思います。 県の補助がないと数万円かかるらしいんですね。受験するために。ですから、それは調べていただければいいんですけど、11月9日、10日も、5,000円出せば受講ができて試験が受けられます。制度をぜひ来年も進めて148行政区に1人以上、防災士がいるというふうにしていただきたいと思います。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>地域防災力の向上のため、防災士の資格を取得する方が一人でも増えることは、大変重要なことであると認識しております。 このため、県が実施する防災士の資格取得に対する支援事業が継続されるよう、要望しております。 県もこのことは充分認識しており、今年度は支援事業が継続され、補助がある中で資格を取得していただくことが可能となりました。 今後も継続されるよう、引き続き要望してまいります。</p>

小浜市議会報告会

No.20

質問、要望に対する回答

【口名田地区】 P17

<p>質 問</p>	<p>猿の被害がかなり深刻であるということで、谷田部と中井におりを設置して入った猿に発信器をつけて、猿の生態を、分布を調べてその対応をどう考えているのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>農林水産課</p> <p>日ごろから、本市の鳥獣害対策について口名田地区の皆様にはご協力をいただき、誠にありがとうございます。 近年、猿による農作物被害や家屋への侵入などが市内全域で発生しているため、猿害対策として猟友会による捕獲、電気柵の補助、集落の花火による追い払い等を行い、被害の防止・軽減に努めておりますが、なかなか短期間で成果に繋がらないのが現状であります。 そんな中、今年度は猿群れの効果的な捕獲や追い払い等に役立てるため、口名田地区方面で猿の行動圏調査を実施しており、1月初めには下中井区に設置させていただいた檻でオス猿1匹を捕獲することが出来たため、発信器を取り付けて追跡調査を実施しております。現在、発信器を取り付けた猿は群れに戻り、谷田部方面で群れの猿と行動を共にしているようです。 調査は3月頃まで行う予定をしており、猿の行動圏が明らかになれば、効果的な捕獲を行うことが出来るようになるかと考えています。また、集落によるサル被害対策や取り組みに対する支援などについても説明会を行いたいと考えています。</p>

小浜市議会報告会

No.21

質問、要望に対する回答

【口名田地区】 P 17

<p>質 問</p>	<p>屋外にある防災放送装置ですけども、スピーカーの音が大雨が降りますとわからない状態なので、電光掲示板をつけるよう検討していただけますか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>本市の防災行政無線につきましては、各地域に屋外拡声器(屋外スピーカー)を設置している他、市内に住所がある事業所および全世帯に対して、戸別受信機を無償貸与しており、この戸別受信機を通じて避難情報等を入手していただくことが可能となっております。</p> <p>また、スマートフォンやパソコン、テレビ、ラジオ等でも、気象情報や本市からの避難情報等を確認することができます。</p> <p>今のところ電光掲示板を設置することは考えておりませんが、「自分の命は自分で守る」という観点から、緊急時のため様々な手段を確保していただきますようお願いいたします。</p>

遠 敷 地 区

No.22

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答

【遠敷地区】P20

質 問	小浜美郷小学校は36番目の避難所にいつなって、どの地区が対象になっているのか。
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>小浜美郷小学校は、令和元年11月に「指定避難所（兼指定緊急避難場所）」として指定し、広報おばま12月号や市公式ホームページにより、周知させていただきました。</p> <p>小浜美郷小学校を含め、すべての指定避難所は、対象地区を限定しておりませんので、どの地域の方でも避難していただくことができます。</p>

No.23

小浜市議会報告会
質問、要望に対する回答

【遠敷地区】P20

質 問	避難指示は、遠敷地区の1丁目から10丁目までと多田地区あたりに発令されるが、近いところが小浜美郷小学校ですが考慮されていますか。
行政側回答	<p>生活安全課</p> <p>平成30年に本市に接近した3回の台風のうち、台風20号および24号の際、遠敷川の水位が上昇したことから、遠敷地区の一部地域および多田区に避難勧告を発令しました。</p> <p>また、前年の平成29年には、台風21号の際、北川や南川等、主要な河川が氾濫危険水位に達したことから、より広範囲に避難指示を発令しました。</p> <p>全国的にも大規模災害が頻発しているところであり、地元地域はもちろんのこと、市民の安全・安心のためには、より多くの避難所を確保することが重要であることから、小浜美郷小学校を指定避難所として指定させていただいたところです。</p>

<p>質 問</p>	<p>小浜美郷小学校の近辺の踏み切りからこちら側も向こう側も全然街灯がありません。下校時に危険ですのでどうかしてください。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>道路管理者が設置する道路照明は、交通量が特に多い交差点における「交差点照明」や交通量が特に多い道路や歩道における「連続照明」などがあります。</p> <p>当該箇所におきましては、交通量は現在のところ特に多い場所ではなく、学童以外の一般の方の通行も多い箇所ではないと考えられることから、道路管理者による道路照明の設置は計画しておりません。</p> <p>一方、小浜市では、毎年夏頃にすべての区長様に対して防犯灯設置の要望調査を行っており、申請があった箇所については、周辺の防犯灯の設置状況や家の戸数、および通学路指定を含めた道路の利用状況等を調査し、必要性が高いと考えられる箇所から設置を行っています。</p> <p>しかしながら、毎年新規要望箇所が多数あり、一度にすべての要望にお応えできていないのが現状です。</p> <p>防犯灯については、設置後の電気代・修理費等を含めた維持管理を地元をお願いしていることから、区長様からの要望により対応しています。</p> <p>地域を繋ぐ道路や、要望する区と設置する区が違う場合は、関係区でご相談していただき、維持管理を行うところを決めたうえで市へ要望していただきますようお願いいたします。</p>

<p>質 問</p>	<p>小浜美郷小学校の給食員が全然足りない状況への対策は考えておられますか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>教育総務課</p> <p>学校給食調理員は、これまでから公募により募集してきましたが、年々、応募者数が募集定員を下回る状況が続いており、4月の時点では、小学校5校と中学校2校で合わせて8名の欠員状況からスタートすることとなりました。</p> <p>この欠員の状況に対し、公募の期間を延長するとともに、本市公共施設への募集広報や求人サイトへの掲載に併せて、学校長による校区内での呼びかけなどにより、新たに8名を採用することができましたが、退職者や育児休業を取得する職員が出たことにより、11月時点でも、小学校3校と中学校2校で合わせて8名の欠員状況となっています。</p> <p>学校給食調理員の不足に対する対策としましては、これまでから処遇の改善を図ってきており、最近では、平成29年度の報酬額の一律3%上乘せや、平成30年度の経験年数に応じた報酬体系への見直しなどに取り組んできたところですが、給食調理員不足の解消には繋がっていません。</p> <p>給食調理員の確保については、給食センターなど外部での調理による学校給食の提供ではなく、各小中学校に給食室を設置する「自校式学校給食」を継続していくことを前提として、既に本市の公立保育園で取り組んでいる民間事業者による給食業務の実施や県内他市町における業務委託による自校式学校給食の実施例を参考にしながら、学校給食調理員の確実な人材確保と、安定した学校給食の実施に向けた抜本的な検討を一日も早く実施し、温かく、美味しい学校給食が提供できるよう努めてまいります。</p>

小浜市議会報告会

No.25

質問、要望に対する回答

【遠敷地区】 P22

<p>質 問</p>	<p>忠野区は5年前、台風で3軒流れ中井の橋も流れた後、すぐにダム工事は完成したのですが、区で管理しているお堂も全部流れてしまいましたので、再建してもらえないでしょうか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>文化課</p> <p>社寺への補助については、国県市が歴史的価値を認めた指定文化財への修理について、事業の適正を見極めて補助金を交付していますが、それ以外の宗教施設についての補助は、政教分離の観点もあり実施していません。</p>

小浜市議会報告会

No.25

質問、要望に対する回答

【遠敷地区】 P22

<p>質 問</p>	<p>山から崩れた土砂もまだ田んぼに山積みになっています</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>砂防堰堤を管理している県からは、砂防堰堤建設時に施工ヤードとして田圃を借地させていただき、工事完了後は関係地権者と協議のうえ、現在の状況に復旧させていただいたと聞いております。</p>

西 津 地 区

小浜市議会報告会

No.26

質問、要望に対する回答

【西津地区】 P 24

<p>質 問</p>	<p>河内川ダムはこの大規模な台風に対してどのぐらいの威力を發揮できるのでしょうか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>都市整備課</p> <p>河内川ダム建設事業は、一級河川北川流域住民の生命と財産を災害から守るとともに、河川環境の維持、生活・農業・産業活動に不可欠な水資源の確保を目的とした多目的ダムとして、県が事業主体となり、昭和58年度の事業採択から36年の年月を経て、令和元年6月9日にダム本体の竣工を迎えたところであります。</p> <p>河内川ダムの総貯水容量800万立法メートルの内、治水容量分として、240万立法メートルを確保しており、北川の高塚地係において、毎秒100立法メートルの流量調整が可能となったと聞いております。</p> <p>ダムの調整流量については、平成24年10月に、河川管理者の国により策定された「北川水系河川整備計画」の中でも効果を見込んでおり、現在進められている河道掘削の効果とも合わせて、北川の治水安全度が向上したと考えております。</p>

小浜市議会報告会

No. 27

質問、要望に対する回答

【西津地区】 P26

<p>質 問</p>	<p>農林漁業成長産業化支援機構の見直し、または廃止ということが載っていましたが、小浜市にはどのような影響があるのでしょうか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>農林水産課</p> <p>農林漁業成長産業化支援機構は、平成24年に制定された「株式会社農林漁業成長産業化支援機構法」に基づき、農林漁業者の6次産業化の取組を支援することを目的に、平成25年に設立された官民ファンドですが、多額の損失を出したことなどから、今後は新たな出資を行わず、可能な限り速やかに解散することが昨年末に決定されました。</p> <p>今回の決定を受け、本市に及ぼす影響を検討したところ、県内における当機構の支援の実績は平成26年に鯖江市の企業が活用した事例が1件あるのみであり、その後は活用実績がないこと、6次産業化の支援についてはその他の金融や各種補助事業等もあることなどから、本市の事業者への影響はないと考えております。</p>

加 斗 地 区

<p>質 問</p>	<p>エアシェルターですが、去年から話があつて、何回か区長会のほうには説明に来ていただいたが、出来たという報告と、どんなものか、という説明が、まだ区民にはないので市にお願いしていただければと思います。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>地区の皆様を対象とした説明会につきましては、令和2年2月2日(日)に、加斗小学校体育館において開催させていただいたところでございます。</p> <p>開催にあたりましては、区長会を通じてご案内をしていただき、当日は、区長様をはじめ12名の皆様にご参加いただきました。</p> <p>ご参加いただいた皆様には、実際にエアシェルター内に入らせていただき、今回整備した具体的な内容や屋内退避施設としての役割等について説明させていただきました。</p> <p>今後は、県の原子力総合防災訓練等の機会を通じ、屋内退避施設の開設訓練や避難訓練等の実施を検討してまいります。</p>

中 名 田 地 区

小浜市議会報告会

No.29

質問、要望に対する回答

【中名田地区】P30

<p>質 問</p>	<p>今、国道 162 号線の上中井の信号の感知機能が故障しており、90 秒サイクルの信号になっている。赤信号で停止しても、集落から出てくる車はないので、雪が降る前に感知式にしてほしい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>ご質問の内容につきましては、警察署にお伝えさせていただきました。その際の警察署からの回答についてお伝えいたします。</p> <p>現在、県内に設置されている感応式信号機につきましては、耐久年数に達した場合や誤作動が見受けられる場合は、順次、感知器を撤去し、定周期信号機として運用しております。ご質問の中井交差点におきましては、設置されている機器が感応しない等の誤作動があったため、現在は定周期信号機として運用しているとのことでございました。</p> <p>小浜警察署に対しましては、引き続き感応式信号機の設置を要望してまいります。感応式信号機の設置が難しい場合は、国道 162 号側の青色灯火時間を長くするなどの対応を要請してまいります。</p>

小浜市議会報告会

No.30

質問、要望に対する回答

【中名田地区】P30

<p>質 問</p>	<p>高齢者運転免許自主返納支援事業における、タクシーチケットとあいあいバス回数券の支援については、市街地とへき地という地域性を考慮して対応してほしい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>高齢者運転免許自主返納支援事業につきましては、高齢者の交通事故を未然に防止するため、運転免許の自主返納を促すための契機として実施しており、運転免許を自主返納した 65 歳以上の市民の方々を対象に、1 万円分のあいあいバス等の回数券もしくは 1 万円分のタクシーチケットのいずれかを選択していただいております。</p> <p>なお、免許返納後の移動手段の確保につきましては、今後の重要な課題であると認識しており、関係課において、協議・検討を進めているところです。</p>

小浜市議会報告会

No.31

質問、要望に対する回答

【中名田地区】 P31

<p>質 問</p>	<p>今、CATVの線を利用しているが、若い世代からインターネットがつながらないという苦情が出ている。それにより若者が出て行ってしまうことが一番つらいので、早急な対応をお願いしたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>市民協働課</p> <p>通信状況は現在回復しております。</p> <p>中名田地区のインターネット回線は、株式会社ケーブルテレビ若狭小浜が運営しております。</p> <p>この度の通信速度の遅延は、(株)ケーブルテレビ若狭小浜において実施した、耐用年数が到来した機器の取り換えによるものと考えられます。</p> <p>機器の取り換えを令和元年9月17日に行ったところ、利用者の方から通信状態が悪くなったとの指摘がありました。そのため、機器取換を委託した業者に対し、状況の確認と改善を依頼し何度か対策を講じておりましたが、12月29日に行った改善策により、通信状況は回復しました。</p> <p>ご利用の皆さまにはご不便をおかけし、申し訳ございませんでした。</p>

小浜市議会報告会

No.32

質問、要望に対する回答

【中名田地区】 P31

<p>質 問</p>	<p>災害時は停電の可能性があるので、(防災冊子にも)ラジオを備え付けましようとして書いてあるが、山間地域はラジオも全然入らない。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>災害への備えにつきましては、地域性や各家庭の事情を踏まえて準備をお願いいたします。</p> <p>災害時に適切な避難行動をとるためには、避難情報や気象情報等の把握が重要なことから、停電時でも有効な情報収集の手段として、ラジオが推奨されているところです。</p> <p>このような中、本市では、山間地域などラジオ放送が入りづらい地域もあることから、各戸に防災行政無線の戸別受信機を配布しており、受信機を通じて避難情報等を入手することが可能となっております。</p> <p>戸別受信機は、乾電池を入れておきますと停電時も受信が可能となります。</p> <p>また、スマートフォン等でも、ラジオを聴取したり、市や気象台等のホームページの閲覧等により避難情報や気象情報等の各種情報を入手することが可能ですので、緊急時のため様々な手段を確保していただきますようお願いいたします。</p> <p>ラジオ放送の不感地帯の解消につきましては、ラジオ放送事業者等、関係機関への要望などの対応について、今後検討してまいります。</p>

<p>質 問</p>	<p>小浜病院の健康診断について、夏場に申し込みをしたところ、もう3月までいっぱいという回答だったが、どのように定員を決めているのか。また、今後そういうことに対してどう対処されるのか。</p>																								
<p>行政側回答</p>	<p>高齢・障がい者元気支援課</p> <p>議員回答のとおり、小浜病院の健診については、医師や検査技師が、健診センターと診療業務を兼務しているために、受入れ可能な人数を制限しています。</p> <p>健診の定員、予約枠については、</p> <table border="0"> <tr> <td>月曜日</td> <td>人間ドック（1日ドック・2日ドック）</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>火曜日</td> <td>人間ドック（1日ドック）</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>脳ドック</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>水曜日</td> <td>協会けんぽ（生活習慣病予防健診 等）</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>P E T健診</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般健康診断 等</td> <td>要予約</td> </tr> <tr> <td>木曜日</td> <td>人間ドック（1日ドック・2日ドック）</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>金曜日</td> <td>人間ドック（1日ドック）</td> <td>5人</td> </tr> </table> <p>となっています。</p> <p>受入れ可能な人数に限りがあるため、協会けんぽ（全国健康保険協会福井支部）の事業所からの健診は、水曜日のみ7人枠で設定していますが、いつも利用されている事業所からの予約で、年度当初には1年分の予約枠がほぼ埋まってしまっているのが現状です。人間ドックについては、毎年7月、8月、9月頃の予約が多く、2月、3月、4月頃は比較的空いています。</p> <p>平成29年2月に病院長が健診センターの長に就かれ、積極的に人間ドックについては枠を広げ、市民の健康づくりの推進のため、健診センターの組織、機能の強化に努められています。</p> <p>予約枠の空き状況は、随時病院のホームページ等でお知らせしていますので、ご確認のうえ、小浜病院にお電話でお問い合わせください。</p>	月曜日	人間ドック（1日ドック・2日ドック）	5人	火曜日	人間ドック（1日ドック）	5人		脳ドック	4人	水曜日	協会けんぽ（生活習慣病予防健診 等）	7人		P E T健診	2人		一般健康診断 等	要予約	木曜日	人間ドック（1日ドック・2日ドック）	5人	金曜日	人間ドック（1日ドック）	5人
月曜日	人間ドック（1日ドック・2日ドック）	5人																							
火曜日	人間ドック（1日ドック）	5人																							
	脳ドック	4人																							
水曜日	協会けんぽ（生活習慣病予防健診 等）	7人																							
	P E T健診	2人																							
	一般健康診断 等	要予約																							
木曜日	人間ドック（1日ドック・2日ドック）	5人																							
金曜日	人間ドック（1日ドック）	5人																							

<p>質 問</p>	<p>簡易水道の料金が、中名田地区は他地区より高い。今後、高齢化になり、使用料が少なくなると運営が大変で厳しい部分がある。格差を是正するか、助成をしていただきたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>上下水道課</p> <p>簡易水道は、その地域にお住まいのお客様だけが利用する施設であるため、「受益者負担と独立採算制の原則」に基づき、整備や経営を行っています。</p> <p>使用料金は、上水道の約0.6～1.6倍となっており、上水道より高い料金の簡易水道は、整備時の建設財源として借入れた地方債（借金）が残っているところとなります。</p> <p>地方債償還の財源は、料金の他に一般会計からの繰入金を充てていますが、料金が高い要因は地方債の償還が主な要因です。中名田簡易水道は、特に地方債が多く残っており、償還の完了は令和12年度末を予定しています。受益者負担の原則に基づき、償還にある程度が目途がつくまでは、今後も現状の料金をお願いいたします。</p> <p>今後、人口減少により、簡易水道の経営はさらに厳しさを増すと考えます。その対策として、令和2年4月から、これまでの官庁会計（単式簿記）から、公営企業会計（複式簿記）へ移行するとともに、水道事業会計との会計統合を行います。</p> <p>今後、簡易水道料金の段階的な改定による上水道との料金統一を行い、将来的に市内を1つの水道事業として経営の統合を行っていきたいと考えています。</p>

小浜市議会報告会

No.35

質問、要望に対する回答

【中名田地区】P31

<p>質 問</p>	<p>防犯隊の支隊長会議で、来年、県の活動補助金が減りそうだと聞いた。補助金は小学校単位で割り当てており、今年合併した4地区の小学校を1つの小学校とみなすためとのこと。市は、松永・宮川・国富・遠敷の4地区で1つの支隊というのは無理との見解であり、そのときは考えていくとのことだったが、どうなっているのか。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>生活安全課</p> <p>ご質問の内容は、「地域の安全力を向上させる」こと等を目的に、各市町の防犯隊が県から委託を受けて実施している「安全で安心な地域社会づくり事業」のことです。</p> <p>県が示しております事業の実施単位は「小学校を単位とする」と定められておりますことから、その算定方法につきましても小学校区数に基づくことがあらかじめ示されております。</p> <p>しかしながら、4地区を1つの支隊で対応することには無理があり、パトロールや行方不明者の捜索等、地域の防犯上重要な活動を続けていただくためには、地区ごとに支隊を設ける必要があると考えております。</p> <p>少子化が進展する中、小学校の統廃合は今後も進む可能性があり、本市のような問題は、県内他市町でも起こり得ることが想定されます。</p> <p>このようなことから、実態に則した補助としていただくよう、県に対し強く要望してまいります。</p>

今 富 地 区

<p>質 問</p>	<p>今富小グラウンド整備（雑草）について子供達がすばらしい環境の中で生き生きと活動できる様、整備をお願いしたい。</p>
<p>行政側回答</p>	<p>教育総務課</p> <p>学校施設は、毎年各学校からの要望等を基に、子どもたちの学校教育活動に支障を来さないように、限りある予算の中で安全上緊急度の高いものから優先して修繕や改修を進めています。</p> <p>このため、グラウンドの排水設備等の改修まで、なかなか着手できていないのが実情ですが、必要な個所があれば整備を検討していきます。これまで様々な機会を通じて、PTAの学校環境整備や地域の皆様のご協力により、子どもたちはより良い学校環境の下で体育の授業や各種行事等を行うことが出来ていることから、今後も可能な範囲で皆様のご協力をお願いいたします。</p>